

科目名	家庭基礎		必修 学校必修 選択必修	使用 教材	家庭基礎 つながる暮らし共に創 る未来(教育図書) 生活学 Navi2024 (実教出版)
学年 学級	2年全クラス	単位数	2	教科 担当	和地 雅美

期 間	授 業 計 画	到達目標
1 学期	中間考査 まで A第1章 生活設計 ・自分の将来を見通そう 第2章 青年期と家族 ・これからの人生に向かって ・家族・家庭とは何だろう ・これからの家庭生活と社会	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯を見通しながら、様々な生活課題に対して適切に意思決定し、責任を持って行動することが重要であることを理解する。 ・青年期の自立について考える。 ・家族を取り巻く課題や民法について理解する。
	期末考査 まで B第2章 衣生活 ・衣服のはたらき ・衣服の計画と管理 ・衣服ができるまで ・これからの衣生活	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の機能や材料について理解し、健康や安全、状況に配慮した適切な衣服を選択できる。 ・基礎的な縫製技術を身につける。 ・衣服の表示を正しく読み取り、適切な衣服管理ができる。 ・入手から廃棄までを意識し、環境に配慮した衣服選択について考える。
2 学期	中間考査 まで C第1章 経済計画 ・将来の経済計画 第2章 消費生活 ・消費生活 消費者問題の現状と課題 第3章 環境 ・持続可能な消費	<ul style="list-style-type: none"> ・家計管理の重要性について理解する。 ・消費者問題の現状と課題について考え、消費者の権利と責任について理解する。 ・暮らしと環境問題について理解し、環境に配慮した消費行動ができる。
	期末考査 まで B第1章 食生活 ・食べるということ ・私たちが食べているもの ・安全に食べるために ・健康に食べるために ・おいしく食べるために	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の食生活を振り返り、課題について考察する。 ・日常用いられる食品の栄養的特質や調理上の性質について科学的視点から理解する。 ・調理の基本的な技術を身につける。 ・食中毒について理解を深め、健康・安全を考えた食生活ができる。
3 学期	学年末考査 まで A第3章 保育 ・子どもの成長を見つめる ・子どもの生活と保育 ・これからの子育て環境 B第3章 住生活 ・安全な住まい 快適な住まい ・住まいの課題と未来の暮らし A第4章 高齢期 ・高齢期の心身の変化 ・超高齢社会の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達の特徴や遊びの意義をとらえ、よい保育環境について考える。 ・安全で快適な住生活を送るための知識を身につけ、環境にも配慮した住生活を送ることができるようにする。 ・高齢期の心身の特徴、高齢者の尊厳などを理解する。 ・高齢者福祉の現状と課題について理解し、生活を支える制度について考える。

学習のポイント

生活の自立をめざし、自分らしく主体的に生きる力を身に付けるましょう。また、社会の課題と生活を結び付けて考え、持続可能な社会を目指して、解決する方法を考えましょう。そして、学習したことを実践しましょう。評価については、授業への取り組み、提出物、考査など総合的に評価します。提出物は必ず出してください。

